

平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年4月12日

上場取引所 大

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 益戸 佳治

TEL 03-3520-0066

四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	844	45.6	49	—	45	—	47	—
22年5月期第3四半期	580	△9.6	△197	—	△194	—	△214	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	864.26	857.17
22年5月期第3四半期	△3,924.62	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	1,612	1,248	77.3	22,674.56
22年5月期	1,843	1,196	64.8	21,811.30

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 1,246百万円 22年5月期 1,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,081	146.5	8	—	8	—	11	—	201.13

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期3Q 58,079株 22年5月期 57,879株

② 期末自己株式数 23年5月期3Q 3,098株 22年5月期 3,098株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期3Q 54,891株 22年5月期3Q 54,779株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年7月9日に公表いたしました平成23年5月期通期業績予想を、平成23年4月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正しております。本資料に掲載しております業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間(平成22年12月1日～平成23年2月28日)におけるわが国の経済は、引き続き国内生産や輸出の回復基調を受けて、景気は踊り場を脱しつつあるとの認識はあるものの、円高の進行に加えて中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰など、不安定な外部要因の影響を受けるものとなりました。

国内消費は、政策効果の剥落とともに冷え込むものと考えられ、雇用環境や設備投資に大きな変化は見られず、本格的な企業の業況判断には依然慎重な見方がなされております。

このような環境の下、当社は引き続き徹底したコスト管理のもと高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりました。

前事業年度後半から下げ止まりの傾向にあった当社主力部門である近代美術の落札単価は、当第3四半期会計期間においても前第3四半期会計期間比で継続して上昇しております。出品点数につきましても当第3四半期会計期間のオークション開催数は前第3四半期会計期間に比べ2開催多い7回であったこともあり、同様に前第3四半期会計期間比で増加いたしました。

その結果、取扱高は998百万円(前第3四半期比36.4%増)と前第3四半期比で大幅に増加しました。売上高も290百万円(前第3四半期比53.2%増、内商品売上高133百万円(前第3四半期比79.8%増))と大幅に増加しましたが、これは商品売上高の増加が主な要因であります。売上総利益も127百万円(前第3四半期比60.8%増)と大幅に増加しました。

利益面におきましては、引き続き損益改善活動への取り組みにより販売費及び一般管理費をほぼ当初の計画どおりに抑えることが出来ており、また、当第3四半期会計期間において貸倒引当金を一部戻し入れたことから、当第3四半期会計期間では経常損失13百万円(前第3四半期会計期間は58百万円の経常損失)四半期純利益0百万円(前第3四半期会計期間は59百万円の四半期純損失)となりました。

なお、平成23年5月期第1四半期及び第2四半期に係る経営成績に関する定性的情報については、平成23年5月期第1四半期決算短信(平成22年10月12日開示)及び第2四半期決算短信(平成23年1月14日開示)をご参照ください。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて11.2%減少し、1,544百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少82百万円、前渡金の減少152百万円及び商品の減少67百万円とオークション未収入金の増加140百万円によるものであります。

当第3四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて34.1%減少し、68百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他の減少37百万円によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて12.5%減少し、1,612百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて45.5%減少し、340百万円となりました。これは主に短期借入金の減少240百万円とオークション未払金の減少51百万円によるものであります。

当第3四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて5.9%増加し、23百万円となりました。これは退職給付引当金の増加によるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べて43.7%減少し、364百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末に比べて4.3%増加し、1,248百万円となりました。これは主に当第3四半期累計期間純利益の47百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は第2四半期会計期間末より426百万円減少(前第3四半期は413百万円の減少)し、398百万円(前第3四半期末は310百万円)となりました。当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は298百万円(前第3四半期は381百万円の使用)となりました。これは主にオークション未払金の減少による減少344百万円と前渡金の増加による減少93百万円による減少に対し、たな卸資産の減少による増加123百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10百万円(前第3四半期は34百万円の使用)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入120百万円と貸付金の回収による収入4百万円に対し、定期預金の預入による支出135百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は116百万円(前第3四半期は収入・支出なし)となりました。これは主に短期借入の返済による支出119百万円と新株発行による収入2百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月期の通期業績予想につきましては、平成22年7月9日に公表しました業績予想を修正しております。詳しくは別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ1,177千円減少しており、税引前四半期純利益は9,402千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による敷金及び保証金の変動額は8,225千円であります。

(3) 追加情報

投資損失引当金

関係会社の株式の実質価額が低下したことに伴い、株式の評価の見直しを行った結果、その回収可能性が見込めると判断したものの、将来の予測に基づくものであることに鑑み、健全性の観点からこのリスクに備えて投資損失引当金を計上しております。

当第3四半期累計期間に発生した投資損失引当金繰入額14,166千円は、「特別損失」に計上しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	688,653	771,530
オークション未収入金	196,981	56,220
商品	242,518	310,363
前渡金	391,851	544,396
その他	24,348	57,013
貸倒引当金	△303	△69
流動資産合計	1,544,049	1,739,454
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,541	24,471
車両運搬具(純額)	2,036	2,787
工具、器具及び備品(純額)	3,385	4,358
有形固定資産合計	22,963	31,617
投資その他の資産		
その他	98,276	135,640
貸倒引当金	△38,643	△63,490
投資損失引当金	△14,166	—
投資その他の資産合計	45,467	72,149
固定資産合計	68,430	103,767
資産合計	1,612,480	1,843,222
負債の部		
流動負債		
買掛金	439	439
オークション未払金	151,762	202,901
短期借入金	120,000	360,000
未払法人税等	2,317	3,341
賞与引当金	8,667	13,698
その他	57,622	44,413
流動負債合計	340,808	624,793
固定負債		
退職給付引当金	23,350	22,050
固定負債合計	23,350	22,050
負債合計	364,158	646,843

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年2月28日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,317	779,125
資本剰余金	386,067	383,875
利益剰余金	167,140	119,700
自己株式	△87,856	△87,856
株主資本合計	1,246,670	1,194,844
新株予約権	1,652	1,533
純資産合計	1,248,322	1,196,378
負債純資産合計	1,612,480	1,843,222

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	580,125	844,949
売上原価	297,059	369,846
売上総利益	283,066	475,102
販売費及び一般管理費	480,469	425,218
営業利益又は営業損失(△)	△197,403	49,884
営業外収益		
受取利息	847	369
受取保険金	—	695
受取査定報酬	934	202
受取保管料	—	1,011
その他	1,422	333
営業外収益合計	3,204	2,612
営業外費用		
支払利息	—	2,488
為替差損	257	4,432
その他	0	227
営業外費用合計	257	7,148
経常利益又は経常損失(△)	△194,456	45,348
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	24,613
新株予約権戻入益	—	722
未払配当金戻入益	298	561
特別利益合計	298	25,896
特別損失		
固定資産売却損	—	510
投資損失引当金繰入額	—	14,166
退職特別加算金	1,404	—
事務所移転費用	18,507	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,225
特別損失合計	19,911	22,902
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△214,069	48,342
法人税、住民税及び事業税	917	902
法人税等合計	917	902
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△214,987	47,439

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	189,680	290,598
売上原価	110,540	163,324
売上総利益	79,139	127,274
販売費及び一般管理費	141,258	138,956
営業損失(△)	△62,118	△11,681
営業外収益		
受取利息	250	112
為替差益	2,108	—
受取査定報酬	135	92
その他	696	25
営業外収益合計	3,191	230
営業外費用		
支払利息	—	1,061
為替差損	—	1,158
営業外費用合計	—	2,219
経常損失(△)	△58,927	△13,670
特別利益		
貸倒引当金戻入額	38	24,368
賞与引当金戻入額	—	4,182
特別利益合計	38	28,550
特別損失		
投資損失引当金繰入額	—	14,166
特別損失合計	—	14,166
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△58,888	713
法人税、住民税及び事業税	237	340
法人税等合計	237	340
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△59,126	373

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△214,069	48,342
減価償却費	9,678	10,295
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,999	△24,613
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,469	△5,031
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,150	1,300
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	—	14,166
受取利息及び受取配当金	△847	△369
支払利息	—	2,488
為替差損益 (△は益)	875	3,469
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	510
売掛金の増減額 (△は増加)	23,428	—
オークション未収入金の増減額 (△は増加)	284,121	△140,760
たな卸資産の増減額 (△は増加)	65,643	67,845
前渡金の増減額 (△は増加)	△156,999	152,544
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,950	—
オークション未払金の増減額 (△は減少)	△304,174	△51,138
未収消費税等の増減額 (△は増加)	16,015	20,453
その他	△100,814	53,491
小計	△393,712	152,994
利息及び配当金の受取額	1,235	542
利息の支払額	—	△1,712
法人税等の支払額	△1,485	△632
営業活動によるキャッシュ・フロー	△393,962	151,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,237	△2,152
有形固定資産の売却による収入	—	1
貸付けによる支出	△19,739	—
貸付金の回収による収入	—	4,499
定期預金の預入による支出	△360,000	△310,000
定期預金の払戻による収入	315,000	340,000
差入保証金の差入による支出	△15,375	△339
差入保証金の回収による収入	26,992	3,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,359	35,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△240,000
株式の発行による収入	125	4,300
配当金の支払額	—	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	125	△236,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	548	△3,476
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△456,648	△52,877
現金及び現金同等物の期首残高	767,594	451,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	310,945	398,653

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社は、主に美術品を対象としたオークション運営事業を行っており、生産実績の記載はしていません。

(2) 受注実績

当社は、受注生産を行っておりませんので、受注実績の記載はしていません。

(3) 販売実績

	当第3四半期会計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)							
	取扱高 (千円)	前年同 四半期比 (%)	売上高 (千円)	前年同 四半期比 (%)	オークション 開催数 (回)	オークション 出品数 (点)	オークショ ン落札数 (点)	落札率 (%)
近代美術オークション	396,270	131.0	82,132	109.5	1	125	108	86.4
近代陶芸オークション	72,810	△63.3	14,492	△46.2	1	194	176	90.7
近代美術Part II オークション	26,415	△23.5	5,992	△42.3	1	157	144	91.7
その他オークション (注) 1	313,935	560.4	59,277	323.3	4	1,085	918	84.6
オークション事業合計	809,430	79.0	161,895	78.8	7	1,561	1,346	86.2
プライベートセール	124,470	152.7	118,644	177.2				
その他	64,316	△72.1	10,059	△81.7				
その他事業合計	188,786	△32.5	128,703	29.8				
合計	998,216	36.4	290,598	53.2				

(注) 1. その他オークションの開催については、募集の状況により随時開催しております。当第3四半期会計期間(平成22年12月1日～平成23年2月28日)は、Bags/Jewellery&Watchesオークション2回、西洋美術オークション1回、ワインオークション1回を開催しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。